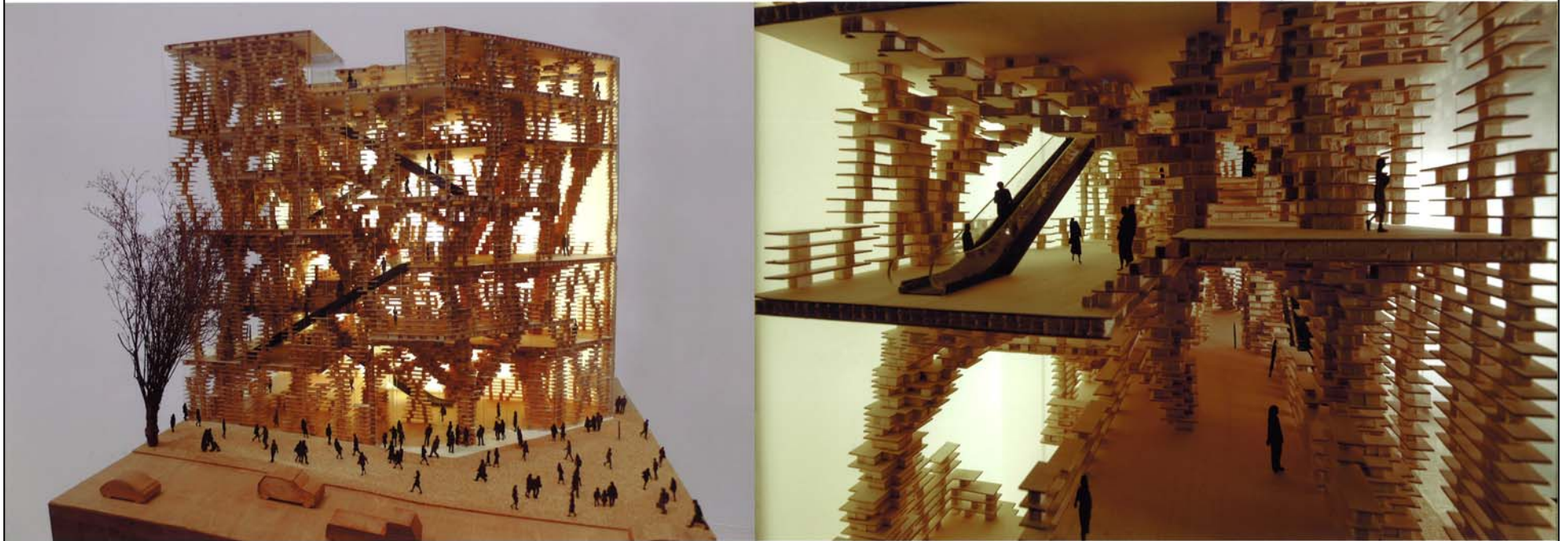


digital woods コンピューテーショナルデザインによるサスティナブルな木造構法

Sustainable timber tectonics applying computational design



いくら部材を最小限にしても利用実態に合わなくなればその建築は使われなくなり、部材も捨てられてしまう。変化し続ける人間の活動に適応できる仕組みを持つ「かたち」こそが材料を長期的に使い続ける建築構法としてのサスティナビリティなのではないだろうか。軽量で加工しやすい自然素材としての木は、伝統的に組み替えて再使用できる構法を可能にしてきたが、工業製品としては不均一な性質が欠点とされてきた。膨大な数のユニットを全て把握できる情報技術の力が木材を新たな構法として甦らせようとしている。コンピュータによる分散的な計算が、移り行く空間に適応し続ける構造と「かたち」を創生するサスティナブルな建築をつくる。

